

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	新潟本部総合健診センター 中央区 <small>※市山丁目447-10, 447-20~21, 447-29, 451-4, 457-2~3, 457-9</small> 準住居地域、防火地 病院, 2016年3月 竣工 13,223.25 m ² 2,884.89 m ² 5,763.47 m ² 地上4F RC造 実施設計段階評価 2015年2月6日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{51.6}{46.8} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	3.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

維持管理のがしやすく、建物の熱負荷抑制を積極的に行っている計画です。
解体時もRC造のため躯体とその他設備等が分離してリサイクルしやすい建物です。

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟本部総合健診センター	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	RC造
用途地域	準住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 竣工	評価の実施日	2015年2月6日
敷地面積	13,223 m ²	作成者	奥山 浩文
建築面積	2,885 m ²	確認日	2015年2月6日
延床面積	5,763 m ²	確認者	奥山 浩文



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	102%
③上記+②以外の	102%
④上記+	102%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	訪れる方にリラックスして健診を受けて頂ける環境としています。平面はコンパクトにし、高さも4階建と周囲の環境に馴染む計画としました。	
その他	0	
Q1 室内環境	ゾーンごとの空調制御を可能にし、待合は大きな開口を設けて明るく開放的な空間としています。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	リラックスできる内装・照明計画とし、診察室などは清掃性のある床材などを選定している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	外構は外周に植栽を計画し、緑の多い環境としている。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	建物の熱負荷抑制を積極的に行い、PAL低減率も高い値を示している。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	解体時に躯体と設備が分離しやすく、部材のリサイクルがしやすい計画としている。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	敷地内に駐輪場や駐車場を十分に設け、交通負荷抑制を適切に行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される